

2016年3月28日

ブラックバイトユニオン
共同代表 渡辺 寛人様

株式会社サークルKサンクス
代表取締役 竹内 修



公開要望書に対するご回答

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2016年3月15日に貴組合が来社され、同日付にていただきました「公開要望書」に対する弊社の対応についてご報告申し上げます。

まず、貴組合が来社される以前の貴組合が本年弊社加盟店に団体交渉を申し入れられて以降、弊社では加盟店指導を早急に実施する必要があると考え、本年2月19日に全国の弊社スーパーバイザー（加盟店指導員、以下、SVといいます）に対して、既存加盟店の勤務時間の丸め設定状況を確認し、1分を超える実労働時間を切り捨てることの無いよう指導することと、新規開業店へは加盟店の了解を得て開業時にSV自ら丸め設定の無いように設定変更をするよう通達いたしました。

また、本年2月23日には弊社本部から直接全国各加盟店に対し、勤務時間について違法行為とならないよう丸め無し設定を推奨する旨の連絡文書を出し、啓蒙いたしました。

さらに、3月15日に貴組合から公開要望書をいただきましたことを真摯に受け止め、同日改めて、加盟店への丸め設定変更を指導するよう全国のSVに同日に通達を出し、再度、啓蒙いたしております。

貴組合からの公開要望書にある勤怠システム中の勤務時間丸め設定廃止の要求につきましては、できる限り早急に対応したいと考えております。

それまでの間は、上記店舗指導を継続し、勤務時間の切り捨てについて防止していく所存ですので、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

敬具